

ひなん施設だより

第12号

成瀬台小・中学校避難施設運営会議 会報

2024年 10月発行

～2024年度 総合防災訓練 特集号～

成瀬台小・中学校避難施設運営会議は、下記の通り「総合防災訓練」を行います。

- 実施日時：2024年10月13日（日）9:30～12:30（雨天決行・荒天時中止）
- 場所：成瀬台小学校（体育館とその周辺）
- 訓練の内容：避難生活する上で必要な作業を体験しイメージを持つ
- 訓練の詳細

下記の4グループに分かれ、時間をずらして、体育館や周辺設備で3つの体験を行います。

1) 各自治会の訓練時間について

時間	9:30～11:00	10:00～11:30	10:30～12:00	11:00～12:30
参加自治会	成瀬台1丁目 成瀬台4丁目	成瀬台2丁目	北成瀬台、学園成瀬 東玉川学園、睦会 玉川学園第六地区	成瀬台3丁目

2) 集合場所：体育館入口（開始10分前に集合）

訓練場所と移動及び内容

No	流れ	内容
①	体育館入口に集合	<ul style="list-style-type: none">訓練案内と靴力バーを受け取る靴力バーを装着して体育館内に入り、指定場所で待機する。（雨天時、傘は傘袋に入れて持つ）高齢者の方などの為に、体育館の2階入口付近に椅子を設置
②	屋内テントの設営解体 (体育館) 30分	<ul style="list-style-type: none">開始の挨拶10組に分かれテントの設営と解体を体験
③	体育館から退出 次の会場に移動10分	<ul style="list-style-type: none">テント設営解体体験後 順次退出靴力バーを脱ぐ
④	マンホールトイレ見学 携帯トイレ体験 クワトロトイレ見学 20分（雨天中止） 次の会場に移動10分	<ul style="list-style-type: none">マンホールトイレの給水排水処理の見学5組に分かれ 携帯トイレの取り付けを体験クワトロトイレ見学
⑤	応急給水栓体験 20分（雨天中止）	<ul style="list-style-type: none">応急給水栓の組み立て設置見学給水体験家庭内備蓄(飲料水)見学
流れ解散		



屋内テント設営解体



携帯トイレ取り付け



応急給水栓による給水

～各訓練の内容～

避難施設で生活する。または、在宅で避難生活を送る為に必要な作業の一部を体験します。

1) 屋内テントについて

避難施設には、プライバシー保護や感染拡大防止等の為、防災倉庫に50個の屋内用テントが保管されています。避難者は、避難生活する場所の拡大や縮小・移転などの事情により、指示に従い、その都度テントを組み立てたり解体したりする必要があります。今回は10組に分かれ、アドバイザーに要領を教わりながらテントの設営と解体を体験します。

2) マンホールトイレについて

体育館横南側（プール横）に設置されるマンホールトイレの汚物処理の手順を見学します。実際の操作は、運営側で行います。

3) 携帯トイレキットについて

在宅で避難生活を送る場合、断水や下水管の破損等によりトイレが使えなくなる事が予想されます。5組に分かれ、ご家庭で準備されている「携帯トイレキット」の設置を体験します（商品により若干使用方法が異なりますが、基本的な使い方は同じです）。併せて、使用済みの携帯トイレキットやトイレットペーパーの処理（保管）方法についても説明します。

4) クワトロトイレについて

女性用のトイレ数を確保する為に、男性の小便専用のトイレを2023年に購入しました。一度に4人が利用できます。今回は、実物を見学していただきます。組み立ては運営側で行います。

5) 応急給水栓について

避難施設が開設された場合、成瀬台小学校車両門横・成瀬台中学校正門横に「応急給水栓」が設置されます。町田市指定職員と避難施設運営会議スタッフが応急給水栓を設置しますので、その様子を見学していただきます。さらに実際に飲料水を供給しますので、飲料水入手するのに必要な時間と労力を体験していただきます。併せて、飲料水入手後ご家庭まで運搬することも考えてください。

6) 家庭内備蓄(飲料水)見学

人間が生きていくためには、1人1日3ℓの飲料水が必要と言われています。また東京都は、「上下水道の機能を95%回復させるのに要する日数は30日」と発表しています。2人分の飲料水30日分を展示しますので、現在ご家庭で備蓄されている飲料水の量と比較し適正量をご準備ください。応急給水栓を利用することは可能ですが、かなりの時間と労力が必要になると予想されます。

《トイレ関連の備蓄について》

在宅避難を実現するには、トイレ関連の備蓄が重要となります。水洗トイレは上下水道が復旧しないと通常通りの使用はできません。上下水道の復旧は、約1ヶ月です。その為、携帯トイレキットの備蓄が必須となります。携帯トイレキットの備蓄の目安は、「家族がトイレを利用する回数」×30日分となります。平均的な1日当たりのトイレ利用回数（5回）で計算すると、携帯トイレキットの備蓄数は、家族4人で600個となります。トイレットペーパーの備蓄の目安は、家族4人、30日分で16ロールです。尚、長巻200mのトイレットペーパーで6ロールです。（出典：経済産業省製造産業局素材産業課）

トイレに付いている洗浄機能は使えません。その代わりとなるものが「携帯おしり洗浄器」です。ペットボトルに付けるだけのものから、温水ができるものまで様々なものが発売されています。携帯おしり洗浄器をすることで、拭き残しによる細菌の増殖を防ぎ、おしりを清潔に保つことができます。特に、お風呂やシャワーを使えない避難生活では必需品です。

お知りになりたいことや疑問・質問は info-tamanaru-hinan@jcom.zaq.ne.jp までお寄せください。